

2026 年 1 月 24 日

# 第 1 回中高生ロケットチャレンジ全国大会 開催要項

和歌山県宇宙教育研究会

## 1. 目的

- (1) ロケットの面白さや魅力を感じてもらい、広く科学や工学への興味と関心を高めること。
- (2) 理工系への進路選択を後押しすること。
- (3) 各チーム間で交流を進め、今後の研究の参考にすること。

## 2. 日時

2026 年 7 月 23 日～24 日（木～金）※小雨決行

## 3. 主催：和歌山県宇宙教育研究会

## 4. 後援：未定

## 5. 協賛：未定

## 6. 会場

和歌山県立潮岬青少年の家 グラウンド

〒649-3502 和歌山県東牟婁郡串本町潮岬 669 TEL:0735-62-6045

## 7. 競技内容 ※詳細は 16. の競技規定をご覧ください。

- (1) 水ロケット（ペットボトルロケット）定点着地競技
- (2) モデルロケットパラシュート滞空時間 National Class 部門
- (3) モデルロケットパラシュート滞空時間 World Class 部門

## 8. スケジュール ※時間は目安。変更になることがあります。

8 月 6 日（木）

13:00～	受付・機体審査
13:30	集合完了・開会式
14:00～	打ち上げ競技
17:00～	表彰・閉会式・片付け
18:30～	夕食・技術交流会
20:00	入浴など
22:00	就寝

8月7日（金）

7:00	起床
7:45	朝食
9:00～	串本周辺のフィールドワーク：ジオパークセンター→最南端の碑→橋杭岩など
12:00	昼食・解散

## 9. 参加資格

（１）モデルロケット部門：以下の①または②のいずれかを満たしているチーム

- ① 第48回モデルロケット全国大会滞空時間部門に参加した中高生で、中高生の中で上位4位までに入ったチーム。
- ② 第1回中高生ロケットチャレンジ近畿大会で上位4位までに入ったチーム。

（２）水ロケット部門：以下の①～③のいずれかを満たしているチーム

- ① 第1回中高生ロケットチャレンジ近畿大会で上位4位までに入ったチーム。
- ② 各地域の大会で上位に入賞したチーム。
- ③ その他、事務局が出場を認めたチーム。

## 10. 大会申し込み

申し込み用紙に必要事項を記入、捺印の上、PDFにして以下のメールアドレスに送付  
兵庫県立芦屋国際中等教育学校 明田 昌裕 宛  
メールアドレス [s704861@hyogo-c.ed.jp](mailto:s704861@hyogo-c.ed.jp) 申込み〆切は2026年7月1日

## 11. 審査員：未定

## 12. 表彰：各部門1位～3位までを表彰する。

## 13. その他

- （１）審判員、運営者の指示には必ず従うこと。判定に関する抗議等は一切受け付けない。
- （２）やむを得ない事情で大会が中止、延期になった場合、交通費、宿泊費等の補償はされない。
- （３）大会中の選手、顧問の体調管理や怪我の防止などは各チームで責任をもつこと。

## 14. 参加料

無料。ただし、使用するロケット、エンジン、イグナイター等は各チームが持参すること。

## 15. お問い合わせ先

兵庫県立芦屋国際中等教育学校 明田 昌裕  
TEL 0797-38-2293 メールアドレス [s704861@hyogo-c.ed.jp](mailto:s704861@hyogo-c.ed.jp)

## 16. 競技規定

### I. モデルロケット部門 (National Class と World Class があり)

- (1) ロケットが発射してから着地するまでの時間を記録し、滞空時間の長さを競う。  
滞空時間は 1/10 秒単位まで記録し、1/100 秒の数値は切り捨てる。
- (2) 各チーム 2 回発射し、良い方の記録がそのチームの記録となる。
- (3) ロケットはパラシュート、ノーズコーン、ボディ、フィンを分離せずに回収すること。
- (4) 以下の場合失格となる。
  - ① パラシュートが開かなかった場合
  - ② 競技会場の敷地から外に出た場合
  - ③ ロケットが着地までに破損した場合
- (5) 使用エンジン：1/2A6-2 型 ※ 各チームで用意すること。他のエンジンは不可。
- (6) 機体
  - ① ロケットはあらかじめ完成したものを、各チーム 2 本用意すること。
  - ② 直径：National Class は 24mm 以上 World Class は 40mm 以上  
※全長の 50%以上が規定の直径であること  
例) 全長が 500mm のロケットの場合、250mm 以上が規定の直径であること
  - ③ 競技で使用される機体は、事前に安全な飛行が行えることが確認されていること。
  - ④ 機体を構成する部材は、紙、木、プラスチックなどの非金属を用いて製作すること。  
ただし、エンジンを固定するエンジンフックを除く。
  - ⑤ 機体 (ボディ部) の外装に、容易に判読できる文字でチーム名を明記すること。
  - ⑥ 機体の外表面は、原則としてフィンとノーズ以外は鋭利な形状の部分があってはならない。
  - ⑦ 市販のものをそのまま使用することは不可とし、設計・製作に主体的に取り組んだ機体であること。
  - ⑧ リカバリーシステムはパラシュートのみとし、パラシュート、ノーズ、ボディー、フィンが分離せずに回収できるもの。
  - ⑨ エンジンの取り外しが容易にできること。機体審査時にエンジンの確認あり。
- (7) 発射台・発射ボタン
  - ・ 大会主催者が『エステス 1256 アルファーⅢモデルロケット組み立てキット』に入っているものを用意する。

## II. 水ロケット部門

- (1) 50メートル先の目標点を目指して飛ばし、目標点に以下に近づけられるかを競う。ロケットの最終到達点と目標地点との距離を cm 単位まで記録し、mm 単位は切り捨てる。
- (2) 各チーム2回発射する。
- (3) 各チームの良い方の記録が精密着地部門の記録となる。
- (4) 各チーム記録の合計が総合技術部門の記録となる。
- (5) ロケットはノーズコーン、ボディ、フィンを分離せずに回収すること。
- (6) ロケットが着地までに破損した場合は失格とする
- (7) ロケットに入れる最大気圧は5 bar とする。
- (8) 機体
  - ① ロケットはあらかじめ完成したものを、各チーム2本用意すること。
  - ② 炭酸飲料用の円形のペットボトルを使ったものとする。
  - ③ 競技で使用される機体は、事前に安全な飛行が行えることが確認されていること。
  - ④ 機体を構成する主たる部材は、紙、木、プラスチックなどの非金属を用いて製作すること。
  - ⑤ 機体（ボディ部）の外装に、容易に判読できる文字でチーム名を明記すること。
  - ⑥ 機体の外表面は、原則としてフィンとノーズ以外は鋭利な形状の部分があってはならない。
  - ⑦ 市販のキットをそのまま使用することは不可とし、設計、製作に主体的に取り組んだ機体であること
- (9) 発射台
  - ・ 大会主催者が『タカギペットボトルロケット製作キット』を用意する。チームの持参も可。

## 17. 改版履歴

- |            |     |                             |
|------------|-----|-----------------------------|
| 2026/01/24 | 第4版 | ・ 文書の年を訂正した。<br>・ 大会名を訂正した。 |
|------------|-----|-----------------------------|

# 「中高生ロケットチャレンジ全国大会」参加申込書

令和      年      月      日

## 1. 学校

学校名		
校長名	印	
住所	〒	
電話・FAX	電話	FAX
Email		

2. 参加生徒（学年は中学・高校に○をつけてください）

※ 複数チームをエントリーする場合は、この用紙を複製してご記入ください

※ ライセンスナンバーはモデルロケット部門に出場する場合のみ記入してください

チーム名		部門 (○をつけて ください)	・モデルロケット National Class ・モデルロケット World Class ・水ロケット部門
引率教員	フリガナ 氏名		
参加生徒 1	フリガナ 氏名	( 中学 ・ 高校 年 男・女 ) ライセンスナンバー ( )	
参加生徒 2	フリガナ 氏名	( 中学 ・ 高校 年 男・女 ) ライセンスナンバー ( )	
参加生徒 3	フリガナ 氏名	( 中学 ・ 高校 年 男・女 ) ライセンスナンバー ( )	

3. その他 ※連絡事項などがありましたら、以下にお書きください。

--

※ 当日撮影した写真や動画などの一部が、テレビ・新聞・雑誌・Web 等へ掲載される場合があります。あらかじめご了承ください。

申込先 兵庫県立芦屋国際中等教育学校 教諭 明田 昌裕

メール [s704861@hyogo-c.ed.jp](mailto:s704861@hyogo-c.ed.jp) 申込済切 2026 年 7 月 1 日